

県立近代美術館応援プロジェクト



現状・課題

- 県立近代美術館は、1963年、和歌山城公園内二の丸跡に開館した和歌山県立美術館、1970年、県民文化会館1階に開館した和歌山県立近代美術館(我が国で5番目の近代美術館)を前身とし、**1994年に和歌山城前・吹上の地に、世界的建築家・黒川紀章氏の設計で新築移転し、30年以上が経過しました。**
- この間、本県の芸術・文化の拠点として、地道な研究や収集と、その成果としての展覧会を精力的に展開してきました。
- 今後も「**アートの聖地**」としての存在感に磨きをかけ、より多くの方々に訪れていただける美術館として活動を継続するため、**老朽化した設備・機器等の更新や鑑賞環境の充実**が重要です。

取組

- **作品の魅力をより一層分かりやすく伝えるため、展示室内の環境を改善**
- **国内外を問わず、多くの利用者の作品鑑賞をサポートするミュージアムガイド等を整備**
- **高齢者やこども、障害のある方など、全ての方が利用しやすい施設環境を整備**
- **収蔵作品の修復等を進め、貴重な作品を後世に継承**

寄附金の使途

- **美術館の機能向上**
 - ・ 作品展示用可動壁の美装
 - ・ 多言語対応のデジタル音声ガイドの導入
 - ・ 作品の修復や刊行物の制作

等

